ブッポウソウってどんな鳥？

光沢のある青い羽根の美しい鳥で、「森の宝石」とも言われています。

日本に夏鳥として渡って来ます。大きな広葉樹に多い樹洞、木製電柱等にキツツキが開けた穴で繁殖していましたが、広葉樹は減り、電柱はコンクリート製になり、繁殖できる場所が少なくなりました。森林で繁殖できるようになるまでは、巣箱を掛けて繁殖を支援する必要があります。中国地方では 広島県、岡山県、鳥取県などで行われています。

（1） 大きさは？

頭から尾の先まで 約 29ｃｍ　ハトより少し小さい

体重は 約 150ｇ　メスの方が少し重く 170ｇ位

カラス＞ハト＞ブッポウソウ＞ムクドリ＞スズメ

（2） 鳴き声は？

「ゲッゲッ、ゲゲゲーゲゲゲー」と特徴のある声。一度聴くと忘れられない。

「ブッポウソウ」と鳴くのはコノハズク（フクロウの仲間）です。

（3） 子育ては？

営巣できる巣箱を探し、卵を産む。１日１個。１日おきに 2～5 個、平均４個。

抱卵は 21 日。昼間はオス、メスが交代で温め、夜はメスが温める。

ヒナがかえるとオス、メスで餌運びをする。

５月～６月　飛来、巣箱探し

６月～７月　産卵、抱卵、子育て

８月～９月　巣立ち、餌捕り学習

９月～　　旅立ち

（4） 何を食べているの？

主に昆虫。飛んでいる昆虫等 空中で捕獲。餌で一番多いのはコガネムシ科の昆虫。

（カナブン、ハナムグリなど）セミ類、トンボ類、バッタ、カタツムリ等も食べる。

（5） 嫌いなものは？

天敵と言われる ヘビ、カラス、イタチ等（巣箱内の卵やヒナを食べる）

巣箱の近くに長時間居座るカメラマン

（6） どこで冬を過ごしているの？

冬になると日本では昆虫を捕らえることができなくなる。

冬でも昆虫がいる東南アジア（ボルネオ島など）で越冬する。

（7） 保護するには、・・・巣箱だけでいいの？

繁殖地（日本）、越冬地（ボルネオ島）及び中継地（日本～ボルネオ間）の保全

餌（昆虫）の確保：中山間地の水田の保全、農薬の適正使用、ネオニコチノイド農薬問題

自然林での営巣：里地里山の保全、人工林の適正管理、広葉樹の拡大

＜ＮＰＯ法人日本野鳥の会鳥取県支部＞